

恋瀬川の成り立ちと
生き物を学ぼう！

自由研究の決定版！

平成27年 8月2日(日)

恋瀬川探検ジオツアー

恋瀬川を

遊びながら学ぶ…

そう、それがジオツアー

～恋瀬川をまるごと知ろう！～

恋瀬川下流（高浜・恋瀬川河口）



恋瀬川中流（ざわめき橋・中流2）



恋瀬川上流（大增・上流）観察

参加者 26名



恋瀬川から生まれた

歴史と文化

高浜入

筑波山系の山々に源を発する恋瀬川が霞ヶ浦に注ぐその河口は高浜入(たかはまいり)と称し、古くから水上交通の要所となっていた。恋瀬川流域と筑波山麓の農産物がここ高浜河岸に集められ、当時世界最大の都市だった江戸の暮らしを支える食料・エネルギー源として積み出されていった。江戸の人口が増えるにしたがって、水運は盛んになり高浜の河岸も繁栄の一途をたどった。

河口付近の湖岸には、5千年前の砂地の浜が微高地を形成し、集落や畑となっている。

爪書き阿弥陀堂の裏にある地層。房総半島以南にしかないはずの植物も見られることから、気温が高いことがうかがえる。

かつては海の中だった！



高浜を一望

急な階段を登ると…



爪書き阿弥陀堂

爪書き阿弥陀堂は鎌倉時代の建立で、堂内には千手観音像と親鸞聖人が平石に爪で描いたという謂れのある阿弥陀碑が厨子に安置されている。その由来は昭和60年の堂修復工事の際に、堂内から発見された古い巻物にも記されている。



恋瀬川には

生きものがいっぱい！

採れた生き物

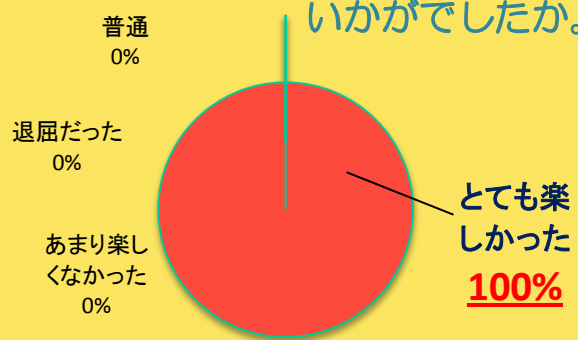
ナツアカネ成虫、カワニナ、サワガニ、カワゲラ類（１種）、ヒラタカゲロウ類（１種）、トビケラ類（３種）、ヘビトンボ、ガガンボ類（１種）、トンボ幼虫３種（オニヤンマ、コオニヤンマ、ダビドサナエ）、ミミズ類



初めてみる生き物に興味津々

参加者にアンケート

・今回のジオツアーはいかがでしたか。



参加者皆様の声

- ・講師の話がとてもわかりやすく勉強になりました。
 - ・川遊びがとても楽しかった。
 - ・実験や自然に親しめるような企画があって面白かった。
- 等

参加者全員が大満足の結果となりました！



毎年夏休みに
開催予定！
親子でのご参加
お待ちしております。

講師の先生に生きものを採取するコツを教わり、実際に採取！
採取した生きものを先生に教わりながら、種類ごとに分類しました。
上流では、サワガニなどのキレイな水に住む生きものを採取でき、子どもも大人も時間を忘れて楽しんでいる様子でした！